

国名 事業名 借入人 事業実施機関	大韓民国 酪農施設改善事業 大韓民国政府 ソウル牛乳共同組合（SDC : Seoul Dairy Cooperative）																																					
交換公文締結 借款契約調印	1987年3月 1987年8月																																					
貸付承諾額 貸付実行額	3,875百万円 3,806百万円																																					
事業概要と基金分	<p>本事業は、増大する韓国の牛乳・乳製品の需要に対応して安定的な供給を行うとともに、酪農家の生産した原乳の安定的な引き受け先を確保するため、ソウル市西南約35kmに位置する京畿道（キョンギド）の半月（パンウォル）工業団地に、酪農家によって生産された原乳を加工するソウル牛乳協同組合第3工場を建設するものである。</p> <p>基金の借款対象は、外貨分の全額と内貨分の一部である。</p>																																					
主要計画/実績比較	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(計 画)</th> <th>(実 績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○事業範囲</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市乳プラント</td> <td>原乳処理能力 540トン/日</td> <td>720トン/日</td> </tr> <tr> <td>チーズ/バタープラント</td> <td>62.6トン/日</td> <td>60トン/日</td> </tr> <tr> <td>粉乳プラント</td> <td>180トン/日</td> <td>建設延期</td> </tr> <tr> <td>・その他関連施設</td> <td>事務所、倉庫、排水処理施設等</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>○工期：事業開始（土木工事開始）～事業完了（試運転終了）</td> <td>1987年9月～1990年9月 (37ヶ月)</td> <td>1987年4月～1991年9月 (54ヶ月)</td> </tr> <tr> <td>○事業費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外貨</td> <td>2,751百万円</td> <td>2,730百万円</td> </tr> <tr> <td>内貨</td> <td>20,886百万ウォン</td> <td>20,807百万ウォン</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,510百万円</td> <td>6,475百万円</td> </tr> <tr> <td>換算レート</td> <td>1ウォン= 0.18円</td> <td>1ウォン= 0.18円</td> </tr> </tbody> </table>			(計 画)	(実 績)	○事業範囲			・市乳プラント	原乳処理能力 540トン/日	720トン/日	チーズ/バタープラント	62.6トン/日	60トン/日	粉乳プラント	180トン/日	建設延期	・その他関連施設	事務所、倉庫、排水処理施設等	同左	○工期：事業開始（土木工事開始）～事業完了（試運転終了）	1987年9月～1990年9月 (37ヶ月)	1987年4月～1991年9月 (54ヶ月)	○事業費			外貨	2,751百万円	2,730百万円	内貨	20,886百万ウォン	20,807百万ウォン	合計	6,510百万円	6,475百万円	換算レート	1ウォン= 0.18円	1ウォン= 0.18円
	(計 画)	(実 績)																																				
○事業範囲																																						
・市乳プラント	原乳処理能力 540トン/日	720トン/日																																				
チーズ/バタープラント	62.6トン/日	60トン/日																																				
粉乳プラント	180トン/日	建設延期																																				
・その他関連施設	事務所、倉庫、排水処理施設等	同左																																				
○工期：事業開始（土木工事開始）～事業完了（試運転終了）	1987年9月～1990年9月 (37ヶ月)	1987年4月～1991年9月 (54ヶ月)																																				
○事業費																																						
外貨	2,751百万円	2,730百万円																																				
内貨	20,886百万ウォン	20,807百万ウォン																																				
合計	6,510百万円	6,475百万円																																				
換算レート	1ウォン= 0.18円	1ウォン= 0.18円																																				

総合評価

- (1) 事業範囲：本事業は、需給予測に応じて第1ステージと第2ステージに分けて計画されており第1ステージは当初計画通り完成しているが、第2ステージに関してスコープの変更がなされた。変更の内容は粉乳プラントの建設を延期し、代わりに市乳プラントの生産能力を当初計画より増強するというものであった。変更の理由は、実際の市乳需要が予想を上回る伸びを示したことによる需給予測の見直しである。本変更は、当初予測を超えた需要伸長による当時の需給実績を踏まえて、ソウル牛乳協同組合が、第1、第2工場も含めた組合全体の需給計画を見直し、その計画に基づいて実施されているものであり、適切な変更であったと思われる。
- (2) 工期：第1ステージは、ほぼ計画通りに完成しているが、第2ステージにおいて、入札準備開始に約16か月の遅れが生じ、結果として事業全体で約1年間の遅延が生じている。これは、前述の通り需要予測の見直しから事業スコープの変更が必要となり、その検討に時間を要したためであり、やむを得なかったものと思われる。他方、その後の工程の実施期間を短縮させる等、最終的な完成遅延を1年に縮めたことは評価できる。
- (3) 事業費：事業費全体では、ほぼ当初計画通りである。外貨については、スコープ変更により事業全体で若干増加しているが、予備費を取り崩すことで対応されている。他方、内貨についても機器購入費及び土木工事費が韓国の物価上昇等の理由で増大したが、輸入税その他が減少したため、内貨総額としては大きな変動はない。
- (4) 実施体制：本事業において、実施機関であるソウル牛乳協同組合は、借款対象の第3工場建設のために組合長直轄下の第3工場建設団を組織しており、効率的な実施体制の整備に取り組んだ。更に基金からの助言をもとに雇用された技術アドバイザーも専門的知識の技術移転に貢献しており評価できる。また、事業実施にあたり、特段技術的問題点も指摘されていないことから、コントラクターのパフォーマンスについても、問題はなかったと思われる。
- (5) 運営維持管理：本事業の運営維持管理は、ソウル牛乳協同組合の生産本部長の下、第3工場が担当している。第3工場の稼働状況は良好であるものと思われる。

事業効果

- ・市乳需要増大への対応
- ・酪農基盤の増強

(備考)

評価報告日：1996年3月